令和3年4月10日（土）　開通予定

新東名高速道路　新御殿場IC～御殿場JCT
国道138号　須走道路・御殿場バイパス　等

～観光・物流を支えるネットワークがさらに広がる～

NEXCO中日本、中部地方整備局、静岡県が整備を進めてきた、新東名高速道路（新御殿場IC～御殿場JCT）、国道138号須走道路（須走口南IC～水土野IC）、国道138号御殿場バイパス（西区間）（水土野IC～ぐみ沢IC）、国道469号バイパス、県道仁杉柴怒田線が令和3年4月10日（土）に開通する。

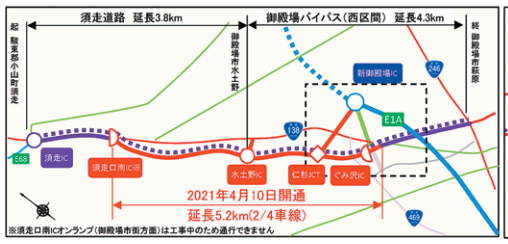
【開通予定日】
令和3年4月10日（土）

【開通区間】
◇新東名高速道路（新御殿場IC～御殿場JCT）／延長7・1㌔
◇国道138号　須走道路・御殿場バイパス（西区間）（須走口南IC～ぐみ沢IC）／延長5・2㌔
◇国道469号バイパス／延長0・56㌔
◇県道仁杉柴怒田線／延長1・7㌔

【開通による整備効果】
◇国道138号の渋滞緩和
国道138号や東名高速道路御殿場IC周辺の道路は、お盆などの観光期に、生活交通と観光交通の輻輳により、御殿場IC～須走ICを中心に最大で5・4㌔の渋滞が発生している。
新東名高速道路の開通により、静岡方面から山梨方面への観光による通過交通が新御殿場ICへ転換し、御殿場市街地の渋滞緩和が期待される。
また、国道138号バイパスの開通により、山梨方面の観光交通が、信号が連担する現道からバイパスに転換し、生活交通との分散が図られ、現道の渋滞緩和が期待される。
◇周遊観光の促進へ期待
新東名高速道路、国道138号バイパスの開通により、観光地へのアクセス性が向上し、富士山周辺、箱根地域、伊豆地域などの周遊観光ルートの形成が期待される。
◇国土強靭化に寄与
新東名高速道路、国道138号バイパスの整備により、中央自動車道および東名高速道路の通行止め時の迂回ルートが強化され、国土強靭化に寄与する。
◇地域活性化に寄与
御殿場市と小山町では、新東名高速道路や国道138号バイパスの開通を見越して工業団地への企業進出が進み、製造品出荷額等が増加している。
開通後も、更なる地域産業発展や地域雇用創出による地域活性化が期待される。

新東名高速道路（新御殿場IC～御殿場JCT）、国道138号バイパス

国道138号　須走道路・御殿場バイパス（西区間）【自動車専用道路】



国道469号バイパス・県道仁杉柴怒田線

令和3年5月1日（土）　開通予定

名古屋第二環状自動車道
名古屋西JCT～飛島JCT

～名古屋第二環状自動車道全線開通！～

NEXCO中日本が整備を進めてきた、名古屋第二環状自動車道（名古屋西JCT～飛島JCT）が令和3年5月1日（土）に開通する。

【開通予定日】
令和3年5月1日（土）

【開通区間】
名古屋第二環状自動車道（名古屋西JCT～飛島JCT）／延長12・2㌔

【開通による整備効果】
◇中京都市圏の経済効果発現に寄与
名古屋環状2号線の開通による経済効果は沿線・非沿線エリアに広がっている。
名古屋環状2号線の全線開通により、約80年間で約10兆2千億円）の経済効果が見込まれ、中京都市圏の地域経済の発展を促進する。
◇名古屋港への物流効率化に寄与
名古屋港飛島ふ頭のコンテナターミナル整備により、海外向けのコンテナ貨物取扱量は、約20年で3倍に増加した。また、飛島ふ頭取扱コンテナの約4割が小牧・岐阜方面へ輸送している。
名二環（名古屋西JCT～飛島JCT）の整備により、所要時間が短縮され、小牧市～飛島ふ頭間の物流の回旋数が増加（1日2往復→3往復）と物流が効率化される。
名古屋環状2号線全線開通と飛島ふ頭のコンテナターミナル整備で、物流機能の強化による相乗効果の発揮が期待される。
◇名古屋港との連携による地域防災力の向上
名二環（名古屋西～飛島）は、強震動予測地域（震度6強以上）や、海抜ゼロメートル地帯など、地震による被災や津波浸水リスクの高い地域を通過する高規格道路である。
災害に強い名二環（高規格道路）と防災機能強化が進む名古屋港（防災拠点）の連携により、被災地への迅速な緊急支援物資の輸送が可能となるなど、地域防災力が向上する。

中京圏の高速道路料金が変わる

NEXCO中日本と名古屋高速道路公社は、名古屋第二環状自動車道（名二環）の名古屋西JCT～飛島JCT間の開通に合わせて、これまで整備の経緯の違いなどから料金水準や車種区分等が異なっていた中京圏の高速道路（東海環状自動車道の内側）の料金体系について、対距離制を基本とした新たな料金体系を導入することとした。

【1】料金体系の整理・統一
①名古屋第二環状自動車道、名古屋高速道路に対距離料金制を導入する。
②東海環状自動車道の内側の高速道路料金を大都市近郊区間の料金水準に統一する。

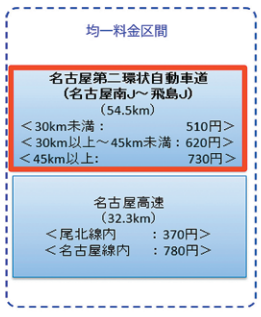
【2】起終点を基本とした継ぎ目のない料金を実現
①名二環の利用が料金の面で不利にならないよう、経路によらず、起終点間の最短距離を基本とする料金になる。※ただし、都心部経由の料金の方が高い場合には、都心部経由の料金は引き下げない。
②都心部への流入・流出に関して、交通分散の観点から、経路によらず、起終点間の最短距離を基本とする料金になる。
また、中京圏の新たな高速道路料金の導入し、より多くの方にETCを利用してもらうため、4月1日（木）から「中京圏ETC2・0車載器購入助成キャンペーン」を実施する。

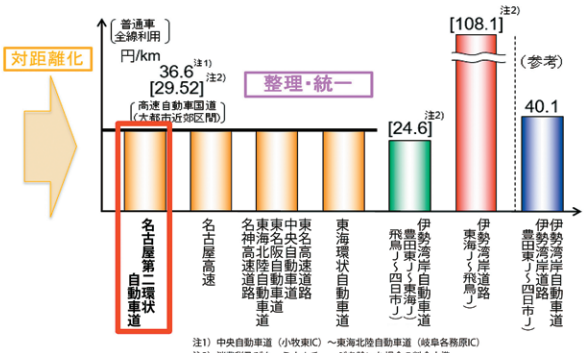
《キャンペーン期間》
令和3年4月1日（木）～7月31日（土）
※ETC2・0車載器の供給が著しく不足するような場合は、応募状況も踏まえ、キャンペーン期間の延長について検討する。

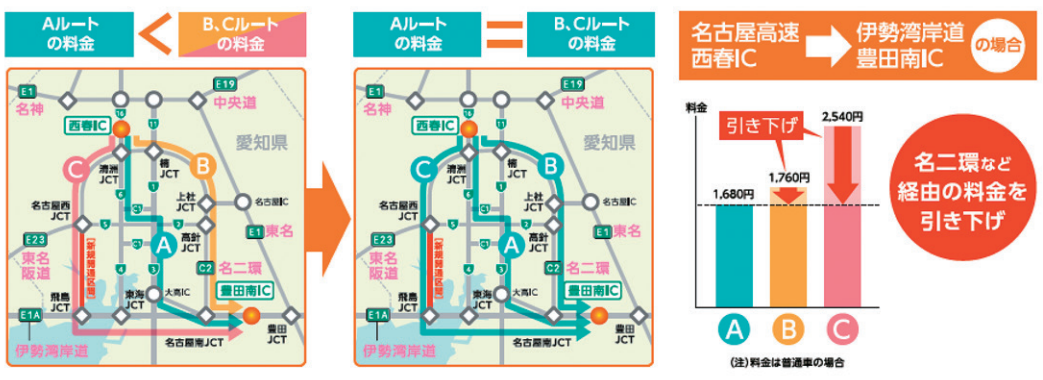
《キャンペーン内容》
▽キャンペーン①
ETC2・0車載器（新セキュリティ対応）購入費用を10，000円助成
キャンペーン期間中、キャンペーン対象の条件を満たす全ての申し込みが対象となる。
▽キャンペーン②
QUOカード10，000円分をプレゼント
キャンペーン期間中、毎月2，500名（計10，000名）が対象となる。

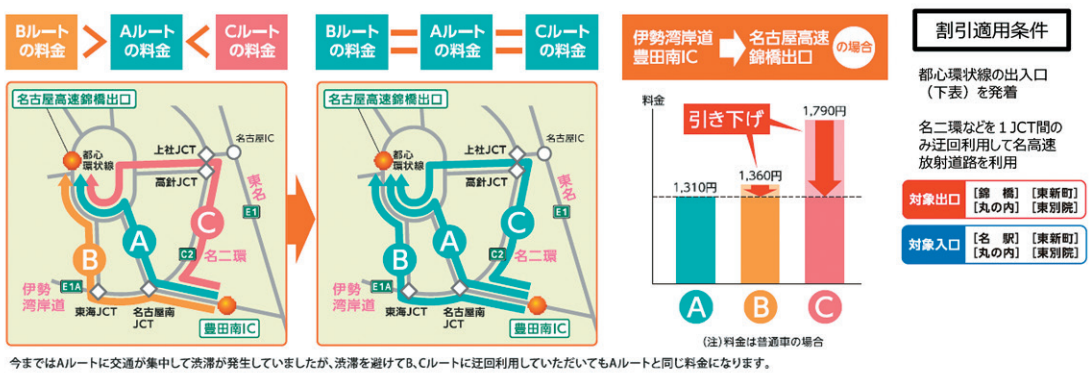
《キャンペーン対象》
▽キャンペーン①
キャンペーン期間中に、愛知・岐阜・三重県内のキャンペーン取扱店舗で指定の助成申込書に必要事項を記入のうえ、ETC2・0車載器未設置の車両に新たにETC2・0車載器（新セキュリティ対応）の購入・セットアップ・取り付けをされた方
▽キャンペーン②
キャンペーン①対象の方のうち、ETCまたはETC2・0車載器未設置の車両へ取り付けされ、WEBアンケートに答えた方

《キャンペーン応募方法》
▽キャンペーン①
キャンペーン期間中に、キャンペーン取扱店舗で「中京圏ETC2・0車載器購入助成キャンペーン申込書」に必要事項を記入のうえ、ETC2・0車載器未設置の車両に新たにETC2・0車載器（新セキュリティ対応）の購入・セットアップ・取り付けを行い、キャンペーンの対象となることが確認できた場合に、ETC2・0車載器（新セキュリティ対応）の購入費用を10，000円助成する。
▽キャンペーン②
キャンペーン①の手続き完了後、キャンペーンWEBサイトからアンケートへの回答が確認できた場合に、QUOカード10，000円分を送付する。









今まではAルートに交通が集中して渋滞が発生していましたが、渋滞を避けてB、Cルートに迂回利用していただいてもAルートと同じ料金になります。

中京圏ETC2.0車載器購入助成キャンペーンWEBサイト（3月20日（土）以降に開設予定）　https://www.chukyo-etc2josei.jp